

AG5

## 補習授業校情報交換会 #19

## 補習授業校の継承語／国際クラス

&lt;各地の開始時刻&gt;

(1月10日)

USハワイ時間	11:00AM
US太平洋時間	1:00PM
US山岳部時間	2:00PM
US中部時間	3:00PM
US東部時間	4:00PM
ポルトガル・英国等	9:00PM
仏・独・北欧等	10:00PM

(1月11日)

タイ・ベトナム等	4:00AM
シンガポール・中国等	5:00AM
日本時間	6:00AM
グアム等	7:00AM
ニュージーランド	10:00AM



## &lt;画面の設定&gt;

右上／左上のボタンや画面スワイプで切り替わります。

**スピーカー・ビュー**

話している人が大きく見えます。

**ギャラリー・ビュー**

多くの参加者の表情が見えます。

## 出席者所属（住所）

アイダホ  
アイルランド  
アムステルダム  
アメリカンスクールin Japan  
インディアナ  
ヴィエンチャン  
エドモントン  
オースチン  
オマハ  
カールスルーエ  
海外子女教育振興財団  
カリフォルニア大学  
カンザスシティ  
クリーブランド  
グリーンビル  
コートダジュール  
ゴールドコースト  
コペンハーゲン  
コルマール

コロンバス  
コロンビアコミュニティカレッジ  
ジュネーブ  
シンシナティ  
ダラス  
チェンマイ  
ディジョン  
チュービンゲン大学  
東京都練馬区  
鳥取市立岩倉小学校  
トロント  
トロント大学  
ナント在住  
ニューポートニュース  
ノースカロライナ大学  
バーゼル  
バルセロナ  
ヒューストン  
フィラデルフィア

プノンペン日本人学校  
フランクフルト「陽だまり」  
プリンストン  
ベルリン  
香港  
マーストリヒト  
ミネアポリス  
ミネソタ  
ミュンヘン  
ミルウォーキー日本語土曜会  
明治大学  
モンペリエ  
山野美容芸術短大  
ユタ  
ヨーデボリ  
ローマ  
ロチェスター  
ワシントン

## 本日の予定

1. 継承語／国際クラスの実情と課題
2. 指導法について
3. 運営について

\*終了後 15 分程度、小グループで自由に話し合う「自由交流会」を持ちます。お時間のある方はご参加ください。

### ◆ これからの情報交換会

#20 小規模補習校の授業と運営

1月27日(日) US 中部 3:00PM/独仏等 10:00PM

28日(月) 日本 6:00AM/ニュージーランド 10:00AM

リクエスト等は、[nsassaykhm@me.com](mailto:nsassaykhm@me.com) 佐々まで。

### ◆ AG5 授業研究会

1月17日 ダラス 小1,2,3 国語・生活「馬のおもちゃの作り方」

・申し込み等詳細については「補習校教員交流 Facebook」でお知らせいたします。

### ◆ AG5 合同研究会・報告会

2月7日(日) 講演「香港で育てる日本語～ジャンルアプローチを用いて『書くこと』を教える試み」(香港日本人補習授業校 明石智子・今寿美子)

2月1日～ 報告「日本語の力が異なる子どもたちをともにのばす授業」(録画)

2月21日(日) パネルディスカッション「日本語の力が異なる子どもたちをどう伸ばすか」

・詳しくはこの資料の最後にある「チラシ」をごらんください。

### ◆ 録画について

スタッフの反省材料とするため、ミーティングを録画をさせていただいておりますが、それ以外の目的でお見せすることはいたしません。思わず言ってしまったことで後で心配になるようなことがないよう、リラックスして発言していただくためですので、ご理解をお願いいたします。AG5 で実施する授業研究会等のイベントでは、一定期間録画を視聴していただける場合もあります。

### ◆ ごらんください。

AG5 補習授業校情報交換会資料 <https://www.ag-5.jp/post/detail/13>

AG5 ウェブサイト <https://www.ag-5.jp>

補習校教員交流 Facebook <https://www.facebook.com/groups/1664125650300837/>

海外子女教育振興財団 (JOES) <https://www.joes.or.jp>

### ◆ 出席者と連絡を取りたいとき

ご希望をお知らせください。相手の方の許可がいただければ、メールアドレスをお知らせします。



### ここが聞きたい

◎保護者の間では、「長期滞在組」が日本から渡米したばかりの子供たちと同じレベルで学習を続けていくことへのサポートに対しては需要があると受け止めております。それぞれの児童生徒に対するサポートが（画一化するのではなく）様々な形で提供できる学ぶ場所として補習学校が進化することはできないのでしょうか。

◎補習校で、継承語の子どもには日本政府から補助が出ないという見解が公的な場でも出されていることがあります。当校では、「継承語」や「国際」クラスはありませんが、多くの継承語の子どもが通っているものの、それだからといって補助が出ないことはないと思われまます。その後「継承語」「国際」クラスでも、補習校としての補助が最近は出るようになったという話も聞きました。実際のところ、現在はどうなっているのか、もし可能であれば教えていただきたく思います。

◎文科省指定の教科書を使用し、日本のペースで進むクラスでない、教員への補助が出ないのでしょうか。（補習校なら校舎使用料への補助は出ると思いますが）

◎継承語という性質上、親の意向で通っている児童生徒も多いと思うのですが、自分の意志が強く出てくる年齢になっても無事に乗り越えて長きに渡って学習が続いているのでしょうか。

◎コースを分けている場合、日本に帰国予定の子供達と継承語・国際語クラスの子供達は、普段、交流があるのでしょか。また、行事等の時に、ともに協力し合って活動に参加できているのでしょうか。

◎全員が長期滞在・永住目的の子供というクラス環境の場合、現地語の方が強い学習者が大半だと想像します。親の意向が強く働く中で通っている児童生徒も少なくないと思うので、自分の中で弱い方の日本語を積極的に使用しているのが気になります。それを乗り越える環境作りができているのなら、その秘訣はどんなものでしょうか。韓国語の継承語学校で教師をしていた友人から、生徒が英語ばかり話してしまって困るという話を聞いたことがあったので、ぜひ伺ってみたいです。

◎継承語・国際語クラスの評価は、日本の学校や社会に戻ることを目標にしている子供たちとは評価基準も変わってくるように思うのですが、具体的にどういった基準で行っているのでしょうか。また、子供間でこっちはできる子クラス、あっちはそうでない子クラスのような分け隔ての原因になることはないのでしょうか。

<参考ウェブサイト>

文部科学省：補習授業校の性格

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/clarinet/002/003/002/001.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/002/003/002/001.htm)

外務省：日本語教育推進に関する法律について

[https://www.mofa.go.jp/mofaj/p\\_pd/ca\\_opr/page23\\_003065.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/p_pd/ca_opr/page23_003065.html)

文化庁：日本語教育の推進に関する法律の施行について（通知）

[https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka\\_gyosei/shokan\\_horei/other/suishin\\_houritsu/1418260.html](https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka_gyosei/shokan_horei/other/suishin_houritsu/1418260.html)



## 各校から

### ♣ヴィエンチャン \*\*\*\*\*

今まではごく数年間ラオスに滞在する子どもたちが大半でしたが、今年度は、日本語がわからない現地の方と結婚された日本人とラオス人の間に生まれた子どもも混ざったクラスになっています。今回のテーマは大変興味深いです。

(小3担任 小川幸宣)

### ♣グリーンビル \*\*\*\*\*

サウスカロライナ日米協会 (Japan-America Association of South Carolina) の傘下にグリーンビル補習授業校が設置されており、この度関係者一同の協力のもと、新たに二つ目の教育プログラムとして「継承日本語クラス」を設置することになり準備を進めております。

(継承日本語アドバイザー 岸本 俊子)

♣香港 \* \* \* \* \*

本校の取り組みをご紹介します。（教務主任 明石 智子）

## 香港日本人補習授業校での取り組み

学校概要 <http://www.hkjss.hk/>

レベルコースと継承日本語コース

大きな違いは児童の学習スタイル【レベルコース=一斉指導、知識教授型、継承日本語コース=探求型】保護者と児童がコースを選択

香港日本語補習授業校継承日本語カリキュラムで目指す児童像=継承日本語学習者としてめざすもの

- 【アイデンティティ】日本人であることに、誇りと自信が持てる
- 【文化・マナー】家族との日本語によるコミュニケーションを通して、日本特有の文化マナーを身につけることができる・日本語による豊かな教育経験を通して、家族のルーツ・伝統について深く考えることができる
- 【言語的側面】日本語の生活言語を確立し、さらにすでに身につけている知識・概念を表現できる学習言語を習得できる
- 【言語的側面】積極的に日本語を学ぼうとする態度を養い、生涯を通して日本語を学ぼうとする意欲を高める
- 【国際的視野】日本を客観的にとらえると同時に、香港や中国など、他国の多様な文化や考え方を尊重することができる

授業展開例

環境（大テーマ）地球温暖化（小テーマ）

授業 5 回（15 時間）

	テーマ学習	読解、作文	国語活動積み上げ (積み上げ)
授業 1	【ふれる】 ★写真をみて気づいたことを言ってみよう	オリジナル読解教材(教科書などをリライトしたもの)を使用	★読解教材の視写
授業 2	【つかむ】 ★雨温図について学ぼう（理科的要素） ★日本の気温上昇をグラフに表そう（グラフ・算数的要素）	【読む】 ★テーマ関連語彙の学習 ★テーマへの理解を深める	★漢字学習 一学年配当漢字にはとられず 一イラストを使って 一部首別に 一テーマ別に
授業 3	【しらべる】 ★香港の建物のエコな工夫を知ろう (校外学習)	【書く活動】 ★読解教材の一部をお手本に文章を書く練習	
授業 4	【まとめる】 ★地球にやさしい建物をデザインしてみよう		
授業 5	【ひろげる】 ★友達とエコハウスの工夫を伝え合おう		

※ 様々な日本語力の児童が混在、それぞれの児童が活躍できるように

①グループ学習での学び合い

②最終アウトプットは日本語とするが、調べ学習ではそれぞれが得意な言語を【言語資源】として活用 (Translanguaging)

参考文献

明石智子（2020）「ジャンルアプローチを活かした継承日本語教育の試み—香港日本人補習授業校での授業実践」, 青山玲二郎、明石智子、李楚成編『リングフランカとしての日本語——多言語・多文化共生のために日本語教育を再考する』pp.61-84, 明石書店。

磯村望（2019）「香港における香港における継承日本語科の授業実践◆課題解決のアイデア」, <<https://ag-5.jp/post/detail/12>> 2020年7月1日アクセス。

海外子女教育振興財団機関誌「海外子女教育」2014年5月号

海外子女教育振興財団機関誌「海外子女教育」2018年6月号

## ♣ダラス \* \* \* \* \*

ダラス補習校より国際部資料を提出します。2度の失敗を経て、失敗しない国際部立ち上げのために色々なリサーチの結果に出来上がった、ダラスでのニーズに適したプログラムです。

所変われば、ニーズも変わりますが、運営方法の一つとしてお役立ていただければと思います。

当日はウッドアード教務主任が出席いたします。彼女は国際部立ち上げの際のプロジェクトメンバーの1人であり、教務主任になる前は長年国際部主任をしておりましたので、質疑等あれば色々お尋ねください。(事務局長 ウィロビー由紀子)

\*\*\*\*\*

令和3年1月6日

### ダラス補習校国際部 指導概要

#### 国際部について

国際部は小学1年生から高校3年生までを対象とした学部です。文科省のカリキュラムとは別に、ダラス補習授業校独自の継承言語教育カリキュラムで指導をします。子供たちの「生活言語」を基礎に、「読む」「書く」「聞く」「話す」という「学習言語」の習得をめざしています。また、カリキュラムには、グローバルなトピックや日本の文化や習慣の学習を総合的に組み入れ、国際Ⅳを終了する時点では、日本で生活する上で支障のない程度の日本語力を身に付けることを目標とします。ダラス補習校国際部では、日本語検定試験、又はAP Japaneseの試験に合格できる程度の日本語の力をつけ、将来バイリンガル、マルチリンガルとして国際社会の中で活躍していく子供たちの育成を目指し、そのために将来必要となる言語力の習得及び日本の文化習慣に対する理解を目標とした学習を行います。アメリカでの長期滞在予定の家族のお子さんを対象にしています。原則として保護者の一人が日本語を母語とし、又は家庭内に日本語学習をサポートできる日本語環境があることが条件です。

#### 1. 国際部の対象児童及び生徒（定員各クラス17名）-別紙 進級、卒業基準に準じる。

\* 学齢を考慮した日本語力のレベル別に分けられたクラス編成となっています。

国際Ⅰ 年齢相当、又はそれに近い「生活言語」を獲得していること。日本語で会話ができ、教師の指示が理解できること。

対象学齢—小学1年生から4年生

国際Ⅱ 小学校2年生以上で、原則として小学1年終了と同等の日本語、国語力があること。

対象学齢—小学2年生から6年生

国際Ⅲ 小学4年生以上で、原則として、小学2年終了と同様の日本語、国語力があること。

対象学齢—小学4年から中学3年

国際Ⅳ 中学1年以上で、原則として国際Ⅲ終了、又は6年生を終了した生徒、それに準じた日本語力、国語力のある生徒。

対象学齢—中学1年から高校3年

## 2.指導方針

- (1) 補習校内では日本語のみで学習する。
- (2) 日本語、日本文化に興味を持ち、楽しんで学習する。
- (3) 家庭内で積極的に日本語を使う。
- (4) 家庭学習を自主的にし、意欲を持って日本語学習に取り組む。
- (5) 友達と日本語を使って仲良くでき、補習校生活を楽しむ。

## 3.年間学習目標

- (1) 話す—各レベルに応じた語彙を使い正しい文法で話すことができる。
- (2) 読む—各レベルに応じた教科書の音読がスムーズにできる。
- (3) 書く—各レベルに応じた漢字、語彙を使い作文を書くことができる。
- (4) 聞く—各レベルに応じた内容を聞き取り、会話につなげることができる。
- (5) 統合—各レベルに応じた4技能を使い、自信を持って自分の意見を発表することができる。
- (6) 興味—日本文化、習慣、時事を知り、興味、関心を持てる。

## 4.時間割（場合により一部変更することもあります。）4時間授業 42日/年

校時	時間	国際1, II, III	国際IV
朝の会	8:35~8:40	出欠、本日の予定の確認	出欠、本日の予定の確認
1時間目	8:40~9:30	日本語学習—テキスト	日本語学習—テキスト、時事
2時間目	9:35~10:25	漢字学習—レベル別	漢字学習—AP 漢字
中休み	10:25~ 10:45		
3時間目	10:45~ 11:35	国語学習—教科書	教科学習—教科書、副教材
4時間目	11:40~ 12:30	統合学習-意見発表、他	統合学習—プレゼンテーション、他
終わりの会	12:30~	次週の予定、宿題の確認	次週の予定、宿題の確認

\*AP 漢字—AP Japanese 合格の為に必要な漢字

\*統合学習—児童生徒の生活経験を中心として、学習を総合、統一すること。国際部の場合、児童生徒の日本語での生活体験、生活言語を基礎とし、興味関心を基にした4技能（読む、書く、聞く、話す）総合的、統一的な学習のこと。

## 5.入学、転入、進級、卒業基準（別紙）

指導内容の充実及び学齢に応じた指導を行うため、国際部独自の基準を設けています。



## 2021年度 国際部入学及び進級・卒業の基準

## 1 学習クラスに関する基準

下記のレベルに達している幼児、児童、生徒で、担任或いは校長の推薦のあるものが入学または進級できるものとする。

項目	国際Ⅰ	国際Ⅱ	国際Ⅲ	国際Ⅳ
話す	意思表示ができ、簡単な日本語での会話ができる。日本語力判定テストでLJSに達している。	日常生活に必要な会話力を有し、日本語力判定テストでLJSに到達している。	日常会話の中で意見や感想を言える程度の会話力を有し、日本語力判定テストFJSに達している。	TPOに対応した会話ができる。意見や、感想を述べる程度ができる程度の会話力を有し、日本語検定4レベルに達している。
聞く	教師の日本語での指示を理解し、学習活動ができる。	*国際Ⅱレベルの内容をほぼ正しく聞き取り、それに対して発表、また適切な作業ができる。 *小学部1年生の教科書の物語文が理解できる。	*国際Ⅲレベルの内容をほぼ正しく聞き取り、それに対して発表、また適切な作業ができる *小学部2年生の教科書の物語文が理解できる。	*NHK Easy Newsの内容が80%理解でき、ナチュラルスピードの日本語が聞き取れる。 *日本語検定4レベルに達している。
読む	ひらがなを読むことができる。	小学部1年生の教科書を読むことができる。	小学部2年生の教科書を読むことができる。	小学部4年生の教科書を読むことができる。
書く	平仮名を大体書くことができる。	短文を書くことができる。	400字程度の作文を書くことができる。	授業中に与えられた課題で400字程度の作文を書くことができる。
学習態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に日本語を使おうとする。</li> <li>・日本語を学習したいという気持ちと意欲を持っている。</li> <li>・授業中に英語を使って話さない。</li> <li>・学習にまじめに取り組み、授業妨害をしない。</li> <li>・宿題が毎週きちんとできる。</li> <li>・クラスメートと仲良くできる。</li> <li>・理由のない遅刻をしない。</li> </ul>			

\*日本語力判定テスト判定。NJS(日本語が話せない)LJS(限られた日本語しか話せない)FJS(日本語が話せる)

**2 漢字クラスに関する基準**（判定テスト後に、以下のレベル別クラスで学習するものとする）

漢字クラス	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
レベル基準	ひらがなの読み書きができる。	小学部1年生の漢字を読むことができる。	小学部2年生までの漢字を読むことができる。	小学部4年生までの漢字を読むことができる。
使用テキスト	かんじだいすき1	かんじだいすき2	かんじだいすき3, 4	かんじだいすき5, 6

**3 卒業の基準**

	国際Ⅰ	国際Ⅱ	国際Ⅲ	国際Ⅳ
卒業の基準	小学部4年生学齢相当までの在籍が可能 在籍年数は原則3年間を上限とする。 －卒業不可	小学部6年生学齢相当までの在籍が可能 －小学6年修了後卒業可	中学部3年生学齢相当までの在籍が可能 －小学6年修了後卒業可	高等部3年生学齢相当までの在籍が可能 －中学3年修了後卒業可
日本語能力の目安	—	日本語検定5	日本語検定4	日本語検定3

## 国際部 I 授業内容

校時	内容
1 時限目	日本語（話す）  教材：「こどものにほんご I」 1 時間目：日本語（話す） こどものにほんご 会話文や文法を学習し生活言語を習得 5W1H を使って自分の考えや体験を発表・説明 会話、語彙、表現、読み、書きの全般を含む総合学習
2 時限目	漢字（書く） 教材：かんじだいすき I 1 年生の漢字 80 字の読み書き 漢字を使って文を作る レベル差に応じて個別指導
3 時限目	日本語（読む）  教材：小一こくご（上・下）光村図書 内容・語彙を理解し音読学習 ひらがな、カタカナ、漢字が読める 初歩の作文の書き方
4 時限目	日本語（聞く）  視聴覚教材を使用して日本の童話・文化を学習

## 持ち物：

1. 教科書 こどものにほんご、かんじだいすき、こくご（上・下）
2. 8 マスノート 1 冊
3. 筆箱（鉛筆 3 本、消しゴム、色鉛筆またはクレヨン）
4. 宿題用フォルダ 1 冊
5. 図書バッグ
6. お水
7. 補習校より配布される名札

## 宿題：

1. 音読
2. 漢字・カタカナ練習
3. 内容読解や文法のワークシート



尚、2021年度はプリ小1及び高学年はこの時間に「国語」の単元で扱う語彙とその表記（漢字）に焦点を当てた学習をする。  
2022年度から小学部全てのクラスでこの学習形態に移行を予定。

- 総合（45分）：日本の年中行事や慣習の体験学習や、国語教材の内容と語彙に基づいた学習者中心のハンズオン活動

### プリントンコース 中高部（複式学級）

ディベートやプロジェクト学習も導入し自分の興味に応じたテーマを更に掘り下げ、様々な場面で役立つ日本語を習得する。

**低学年**（主に中学生、2クラス体制、それぞれ2年サイクルのカリキュラム）

2021年度から教科の名称を改定し、以下の通りとする

- 国語（45分×2）：文科省検定教科書を中心に、読み教材の内容を基にして4技能を伸ばす。  
ディスカッションを重視し、自分自身の考えを発表する練習に力を入れる。
- 漢字・表現（45分）：読み教材の単元で扱う漢字や表現を取り出して、語彙の定着を図る。
- 総合（45分）：日米の歴史と文化や時事問題などを中心に、現地校の学習と結びつけながら、生徒が関心を持つ年齢に即した内容の日本語を習得する。

**高学年**（主に高校生、複式学級、3年サイクルのカリキュラム）

- 国語（45分×3）：文科省検定教科書の他に、外国語として日本語を学ぶ大学生向け教材や、一般紙を含む様々な教材に触れる。  
英語と日本語の特徴を対比し、漢字や表現の学習を継続する。  
グローバルな視点からのディスカッションを通して、クリティカルシンキングを養い、現地校の学習にも役立つスキルを育てる。
- 高等部と乗り入れ授業（45分）：週によって、①「日本史」②「日本文化」③選択科目の「AP日本語受験対策\*」もしくは「漢字検定準備」  
（\* AP=毎年5月に実施される College Board の Advanced Placement "Japanese Language and Culture" 試験）

### **編入について**

編入は、保護者面談、生徒のアセスメント、体験入学等を経て決定

## 2020 年度 AG5 補習校チーム合同研究会・報告会

テーマ：日本語の力が異なる子どもたちがともに力を伸ばしていく授業づくり

### (1) 講演「香港で育てる日本語～ジャンルアプローチを用いて『書くこと』を教える試み」

香港日本人補習授業校 明石 智子 今 寿美子

- ・日本時間 2月7日(日) 午後11時 - 12時 ・香港時間 午後10時 - 11時
- ・アメリカ中部時間 2月7日(日) 午前8時 - 9時  
(各地の開始時刻は次のページをごらんください)
- ・形式：Zoom ミーティング

### (2) 報告「日本語の力が異なる子どもたちをともにのばす授業」(録画)

・今年度作成した7つの学習活動計画について、授業者と補習校チームメンバーの対談を録画でごらんいただきます。

- ① 小1,2,3 国語・生活「馬のおもちゃの作り方」(ダラス 長本玲子×AG5 佐々信行)
- ② 小3 国語「3年とうげ」(ワシントン 福嶋加代子×AG5 今澤 悌)
- ③ 小4 国語「ランドセルは海をこえて」(シアトル四つ葉学院 西尾由香×AG5 近田由紀子)
- ④ 小5 算数「平均」(ダラス 森 寛二×AG5 今澤 悌)
- ⑤ 小6 社会「わたしたちのくらしと日本国憲法」(ダラス ギャリス裕美子×AG5 岡村郁子)
- ⑥ 中1 数学「比例、反比例の利用」(シンシナティ 末沢敦子×AG5 渋谷真樹)
- ⑦ 中2 国語「漢詩の風景」(プリンストン 笠原朋子×AG5 雨宮真一)

### (3) パネルディスカッション「日本語の力が異なる子どもたちをどう伸ばすか」

- ・日本時間 2月21日(日) 午後11時 - 12時
- ・アメリカ中部時間 2月21日(日) 午前8時 - 9時  
(各地の開始時刻は次のページをごらんください)
- ・パネラー：学習活動計画作成の授業者(各校1名)
- ・司会：補習校チーム 佐々信行
- ・形式：Zoom ミーティング



・参加ご希望の方は、所属(またはお住いの都市名)・お名前を明記の上、受付メールアドレス

[snobuyuki232@gmail.com](mailto:snobuyuki232@gmail.com)

あてに「AG5 報告会参加希望」とお知らせください。講演会・報告・パネルディスカッションのリンクをお送りいたします。一部のみ参加も歓迎いたします。それぞれの録画は、日本時間3月31日までごらんいただけるようにいたします。

合同研究会・報告会のお知らせ（つづき）

＜講演開始時刻＞

2月7日（日）

アメリカハワイ時間	4:00AM
アメリカ太平洋時間	6:00AM
アメリカ山岳部時間	7:00AM
アメリカ中部時間	8:00AM
アメリカ東部時間	9:00AM
ポルトガル・英国等	2:00PM
仏・独・北欧等	3:00PM
タイ・ベトナム等	9:00PM
シンガポール・中国等	10:00PM
日本時間	11:00PM
グアム等（8日）	0:00AM
ニュージーランド（8日）	3:00AM

＜パネルディスカッション開始時刻＞

2月21日（日）

アメリカハワイ時間	4:00AM
アメリカ太平洋時間	6:00AM
アメリカ山岳部時間	7:00AM
アメリカ中部時間	8:00AM
アメリカ東部時間	9:00AM
ポルトガル・英国等	2:00PM
仏・独・北欧等	3:00PM
タイ・ベトナム等	9:00PM
シンガポール・中国等	10:00PM
日本時間	11:00PM
グアム等（22日）	0:00AM
ニュージーランド（22日）	3:00AM

＜AG5プロジェクト 公益財団法人海外子女教育振興財団が文部科学省より受託＞

代表者

佐藤 郡衛 AG5 運営指導委員会委員長・明治大学特任教授

中村 雅治 公益財団法人海外子女教育振興財団相談役

補習校チーム

雨宮 真一 東京学芸大学附属国際中等教育学校副校長

今澤 悌 甲府市立大國小学校教諭

岡村 郁子 東京都立大学教授

近田由紀子 目白大学専任講師

佐々 信行 海外子女教育振興財団教育相談員

渋谷 真樹 日本赤十字看護大学教授

◎AG5のこれまでの成果をまとめた本が出版されました。



「海外で学ぶ子どもの教育 - 日本人学校、補習授業校の新たな挑戦」

（佐藤郡衛ほか著、明石書店）

[Amazon リンク](#)